

## “教育のゲーミフィケーション”を具現化! eラーニング教材「すらら」 導入学習塾数 400 校突破 ～一定の商圈を確保する新制度「エリアマネジメント制度」を12月より運用開始～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）では、eラーニングアニメーション教材「すらら」の導入学習塾数が2012年9月末現在で400校を突破しました。

また、これを受け、一定の商圈を確保する新制度「エリアマネジメント制度」を2012年12月より開始します。

eラーニング教材「すらら」は2008年8月から提供を開始し、2011年12月末の導入学習塾300校突破以降、1年かかることなく400校を突破し、2012年9月末で344社409校となりました。

導入学習塾が増加した背景としては、脱FC（フランチャイズ）形式である「すらら」を導入して学習塾を独立開業するケースが増えていることが挙げられます。脱FC（フランチャイズ）形式とは、加盟金を排除し、eラーニング教材のID数に応じた使用料だけをお支払いいただきながら、ノウハウの共有や塾経営者の横のつながりをもたせる勉強会やSNSの提供を行うものです。

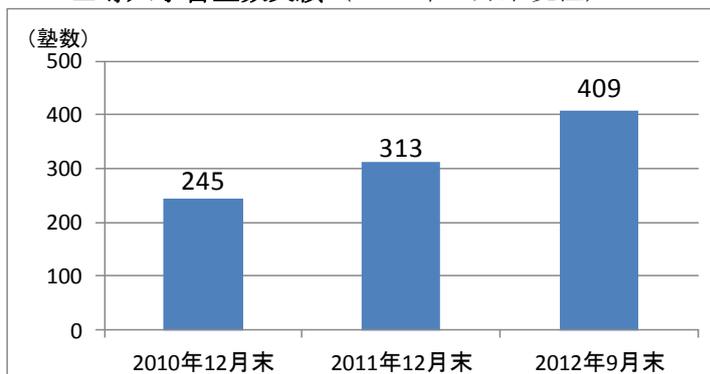
長引くデフレーションにより、高額な開業資金の準備が厳しくなる中、全体の契約数に占める本ケースの比率は今年の同時期と比較して約8倍となっており、少ない開業資金で独立開業したいと考えている方による「すらら」の導入が増加しています。

このように、「すらら」の導入学習塾が400校を超え、増加し続けていること、および、保護者のeラーニングへの関心が高まっており、「すらら」を導入していること自体が塾の差別化となってきたことから、すららネットでは、新制度「エリアマネジメント制度」の運用を12月より開始します。

「エリアマネジメント制度」は、「すらら」導入学習塾個々の商圈がバッティングしないように、地域ごとの出店校舎数にルールを定める制度です。たとえば、東京都三鷹市は3校舎まで、青森県青森市は6校舎までというように、すららネット本部が、既存の導入校のデータを元に、日本全国を38万のメッシュに区切り、人口数や人口密度から出店可能数を地域ごとに算出します。

すららネットでは、今後もさらに増加する導入学習塾数に対応し、皆様のご要望にお応えした教材やサポート体制の開発に力を注いでいきたい、と考えております。

### ■導入学習塾数実績（2012年9月末現在）



eラーニングアニメーション教材「すらら」は、ゲーミフィケーションの要素を取り入れた「対話型アニメーションタイプ」のeラーニング教材です。キャラクターがレクチャーをしている、ということだけではなく、生徒の力量に合わせて適切なレベルで出題される問題を解きながら各ステージをクリアするという快感や、他のユーザーと学習時間等を競い合う緊張感など、楽しくて没頭しているうちに学力向上につながる仕掛けとなっています。



▲すららTOP画面

# NEWS RELEASE

## ■eラーニング対話型アニメーション教材「すらら」とは

【学習範囲】 中学1年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【ユーザー数】 20,000名（2012年1月末現在）

【特徴】

### ○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

### ○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

### ○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、eラーニングだからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ  
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないうりばなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ  
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないうり、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ  
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



## ■ 株式会社すららネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：6,285万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>